

総務区民委員会の視察計画について（案）

1 視察先及び目的

(1) 愛知県一宮市

「市民が選ぶ市民活動支援制度に関する調査・研究」

18 歳以上のすべての市民が支援したい市民活動団体を選ぶことができる制度。中部地方では初となる制度で、全国でも同様の制度を導入している自治体は 5 市という先進的な取組となっている。（平成 29 年 4 月現在）

対象となる団体（事業）の一覧から支援したい団体を 3 団体まで選ぶことができる。市民の選択結果に応じて、市民活動団体への支援金の金額が決定され、支援したい団体を選択した市民の数に「市民 1 人当たりの支援額」をかけたものが、団体への支援額の上限となる。なお、「市民 1 人当たりの支援額」とは、その年度の 6 月 1 日時点の個人市民税額の 1%相当額を同日現在の 18 歳以上の市民の数で割り戻して算出したものをいい、この制度が 1%支援制度と呼ばれる由縁となっている。

(2) 滋賀県長浜市

「黒壁を中心とした商業と観光戦略に関する調査・研究」

① 長浜市観光振興ビジョン

観光客による交流人口の拡大と、地域経済の持続的な発展という観点から、観光政策による地域経済の活性化及びその実現に向けた取組を示す「長浜市観光振興ビジョン」を策定。「消費を喚起する仕組みづくりの推進」、「顧客ニーズに即した受入体制と情報発信の強化」、「観光推進力の強化」を掲げ、官民が連携して「稼げる観光への転換」を図っている。

② 「黒壁スクエア」視察（「特定非営利活動法人まちづくり役場」による現地視察）

黒壁スクエアを中心とした大手門通り商店街で、「まちづくり」をキーワードに、情報発信を積極的に行い、長浜がさらに魅力あるまちになるよう活動している。平成 10 年の組織立ち上げ以来、「黒壁立ち上げのノウハウ」、「商店街としての取組」、「長浜市行政の取組」、「まちづくりに関する NPO 法人」等をテーマとして、これまで約 3,000 件の視察対応実績がある。

(3) 岐阜県大垣市

「自治体のICT戦略に関する調査・研究」

① 「大垣市ICT戦略ビジョン」

平成24年4月「情報技術と人の絆でつくる 情報交流都市 大垣」を将来像とした「大垣市ICT戦略ビジョン」を策定。「コンビニにおける証明書等の交付サービス」を開始するなど、市民サービスの向上に努めている。

② 「大垣市情報工房」視察

郵政省（現総務省）及び岐阜県の「自治体ネットワーク施設整備事業」の補助を受け、地域情報化の拠点として整備された施設。行政情報提供手段の多様化・高度化に対応した情報の受信及び発信機能、ネットワーク市民を育成するための人材育成機能など、大垣市のICT戦略における拠点施設として大きな役割を果たしている。

2 実施日

平成30年7月9日（月）・10日（火） 1泊2日

3 行程（時間等は予定、乗り継ぎ等は省略）

1日目 7/9（月）	2日目 7/10（火）
9:15 【東京駅集合】	9:00 長浜市内ホテル 発
9:30～11:35 移動	9:30～11:30 長浜市役所・黒壁スクエア
11:40～12:40 昼食	◆視察(2-②)（商業・観光戦略・現地見学）
13:00～14:15 一宮市役所	11:30～12:30 昼食
◆視察(1)（市民活動支援制度）	12:40～13:35 頃 移動
14:30～16:10 頃 移動	14:00～15:30 大垣市情報工房
16:30～18:00 黒壁スクエア	◆視察(3-①・②)
◆視察(2-①)（現地NPO案内による視察）	（ICT戦略ビジョン・現地見学）
<u>長浜市内ホテル</u> 宿泊	15:40～ 移動
	18:33 東京駅 着 【解散】